

令和2年5月29日

PTA関係者 各位  
教育関係諸団体 各位

長野県PTA連合会  
令和元年度(第33代)会長 大島 修

## 会長退任のご挨拶

本日、令和2年度長野県PTA連合会定期総会の書面決議を以って、平成29年度から3期、3年間務めさせていただいた会長を退任し、熊谷弘新会長へ無事バトンタッチさせていただきました。

昨年4月13日に「長野県PTA連合会結成70周年記念式典」を開催し、「チーム信州PTA70周年ビジョン」と「チーム信州PTAモデル」を発表させていただき、また、組織運営におけるさまざまな改善を実施させていただきましたので、今はとても清々しい気持ちであります。

在任中は県内外のPTA関係者の皆様方、並びに長野県教育委員会を始めとする教育関係諸団体の皆様方には多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、公式フェイスブックに投稿した数々の会合やイベント等の記事も毎回ご覧いただき、たくさんの「いいね！」をいただいたことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この3年間、『チーム信州PTA！～「学びと連携」により、信州モデルのPTAを創造しよう！』をスローガンに掲げ、チームとしてのあらゆる「つながり」や「学びと連携」をキーワードにここまで邁進して参りました。その間、長野県内を駆け巡り多くの方々と接したことにより、就任当初に比べると、県PTAの存在や諸活動に対する認知度が少なからず増し、また、教育関係諸団体ともお互いを理解し合いながら、良好な関係が築けたと実感しております。

世間では、PTA不要論や脱退問題が顕在化する中、長野県においては、各地域のPTA役員やPTA会員の皆様方のご理解とご協力により、すべての公立小中学校が各連合会に所属し、同じ方向に向かってみんなで活動をさせていただいていることが何よりの自慢であります。これは、決して当たり前の状態ではなく、諸先輩方が築き上げた歴史と、保護者と教職員、そして、地域の皆様方の並々ならぬご尽力の賜物であると感謝しております。少子化の波を抑えることは難しいですが、今後ともPTA活動の主語を常に「子どもたち」とし、輝く大人の背中を見せながら、引き続き、時代と地域に見合った活動をしていただければ幸いです。

令和元年度は、昨年10月の台風19号による甚大な被害、そして、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの歴史の中で味わったことがないまさに試練の年度ではありましたが、その分、今まで見えなかったことや当たり前だと感じていたこと、また、「信州人の温かさ」といったたくさんの大切なことに気付かされた1年であり、未来へ向けた教訓となりました。是非ともこの経験を、これからの県PTA、郡市PTA、単位PTA、学級PTAそれぞれの活動に活かし、この難局をみんなで乗り越えて参りましょう。私も令和2年度は、県PTA顧問、そして、公益社団法人日本PTA全国協議会理事として、皆様方を全力でサポートさせていただきます。

最後になりますが、関係各位の皆様方のご健勝とご多幸、そして、長野県のすべての子どもたちの明るい未来をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

以上